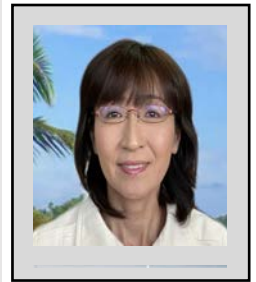


教員についての基本情報

教員名	與儀 峰奈子 教授 (YOGI Minako)
担当教科と分野	英語 英語教育学・応用言語学
研究分野	COIL (Collaborative Online International Learning)、 会話・談話分析、小学校英語教育等
担当授業	大学英語、英語講読演習、英語プレゼンテーション、メディアの 英語、英語科教育法、英語科教材研究、英語科授業研究等
授業についての一言	各担当授業において、海外の教育機関と連携し COIL 型授業を展開しています。



研究の内容

私の研究室では共同研究を取り入れ、ゼミ生同士が支え合い、学び合える環境を主体としています。小学校に外国語活動が導入される以前は、朝の読み聞かせの時間や総合的な学習の時間を活用し国際理解教育の一環としてゼミ生が教育現場に出向き、実際に英語の実践授業を体験し、そのプロセスと記録を卒業研究に結びつけました。実践授業の準備段階では授業案や教材・教具を検討し、実際の授業体験を通して教材の開発・検討・改善を重ね、そのサイクルを繰り返すことによって指導技術を向上させ、各々の授業で明らかになった様々な内容を解釈し、意味を構築することで卒業研究つなげてきました。

これまでに研究室で取り組まれた卒業研究の内容

学生は各自収集したオリジナルデータを整理しながら様々な事象を見出し、解釈・分析・考察した経験を将来の職業につなげてほしいと思います。以下は卒業研究の一例です。

- ・ 中学校英語教科書分析：言語の機能を中心に
- ・ 教室内談話分析：教師の発話における質問の役割
- ・ 小学校外国語活動における英語絵本の活用：他教科と関連した読み聞かせを通して
- ・ 小学校外国語教育の現状：教員及び教員志望学生対象の意識調査を通して
- ・ 小学校における外国語教育と国際理解教育：日本とオーストラリアの比較を通して
- ・ ICT を活用した英語教育：小学校教員志望学生の英語授業に対する意識調査を通して



小学校英語授業実践の様子

研究のキーワード

COIL (Collaborative Online International Learning)、会話分析・談話分析、小学校英語教育など。

授業の様子

授業では海外の教育機関と連携し相互交流を導入する COIL 型授業を実践しています。言語や文化が異なる海外の学生と意思疎通を試み、相互交渉を重ねながら相手を理解し自己を表現する力を培います。様々なトピックが瞬時に飛び交い、真のコミュニケーション能力の必要性に気づきます。教室にいながら様々な背景を持つ海外の学生とのやり取りが可能となり、グローバルな視野が養われます。



海外連携大学との交流の様子